

「昭和の言論 軍部批判と天皇機関説事件」関係年表

明治22	1889	2. 11 帝国憲法発布	昭和 7	1932	10. 24 東京で「大日本国防婦人会」設立
23	1890	7. 1 第1回総選挙			11. 12 司法官赤化事件(東京地裁判事高橋被弾される)
37	1904	2. 10 日露戦争始まる			12. 19 全国132の新聞・通信社が「満州国独立支持」の共同宣言発表
38	1905	9. 5 日露講和条約調印			
43	1910	11. 3 帝国在郷軍人会発会式	8	1933	2. 20 小林多喜二、築地署で虐殺される
44	1911	1. 12 幸徳秋水ら12人、大逆事件で死刑			2. 24 国際連盟総会「満州国不承認」の対日勧告案を42対1、棄権1で採択
		8. 21 警視庁、特別高等課を設置			3. 27 日本、国際連盟を脱退。詔書発布
45	1912	1. 1 中華民国成立。孫文、臨時大總統就任			4. 11 滝川幸辰教授(歎)の「刑法読本」発禁
		2. 12 宣統帝(溥儀)退位。清朝廃止			4. 22 鳩山一郎文相、滝川教授の辞職要求
		3. 1 美濃部達吉、「憲法講話」を発表			5. 17 五・一五関係者21人起訴。記事解禁に
大正 3	1914	7. 28 第1次世界大戦始まる			5. 26 京大法学部、滝川休職に抗議運動
4	1915	1. 18 大隈重信内閣、中国に「21カ条要求」			6. 7 共産党の佐野学、鍋山貞親転向声明
		5. 9 中国、日本の要求受諾。「国恥記念日」			6. 17 大阪で「ゴー・ストップ事件」
7	1918	11. 11 ドイツ降伏。第1次世界大戦終わる			8. 9 関東地方で防空大演習(11時まで)
8	1919	4. 12 関東軍司令部設置			8. 11 桐生悠々、信毎に「防空演習を嗤ふ」
9	1920	1. 10 国際連盟発足			9. 12 荒木貞夫陸相辞任。後任に林銑十郎
11	1922	2. 6 ワシントン会議で海軍軍縮条約と中国に関する九カ国条約調印	9	1934	3. 1 満州国帝政実施。皇帝に溥儀
13	1924	6. 11 護憲三派連立・加藤高明内閣成立。政党内閣制、二大政党時代始まる			7. 8 岡田啓介内閣成立
14	1925	3. 19 治安維持法成立(4. 22公布)	10	1935	2. 11 朝日、毎日、門司で印刷開始
		3. 29 普通選挙法案、衆院、貴族院で成立			2. 18 貴族院で美濃部の「天皇機関説」攻撃
昭和 3	1928	1. 30 新聞・通信21社、初の普通選挙にあたり自由公正を訴える共同宣言			2. 25 美濃部、貴族院で弁明演説
		2. 20 初の普通選挙。第一党政友会			2. 27 江藤源九郎、衆議院で機関説攻撃
		6. 4 張作霖爆殺事件			2. 28 江藤、美濃部を不敬罪で告発
		6. 29 治安維持法改正。「国体変革」に死刑			3. 20 貴族院「政教刷新に関する建議」可決
4	1929	10. 24 米株式大暴落。世界恐慌へ			3. 23 衆議院「国体に関する建議」可決
5	1930	2. 2 新聞19社、自由公正選挙の共同宣言			4. 6 教育総監真崎甚三郎、師団長会議で全軍に「機関説排撃」の訓示
		4. 22 ロンドン海軍軍縮条約調印			4. 7 在郷軍人会、「大逆思想根絶せよ」
		11. 14 浜口雄幸首相、東京駅で狙撃される			4. 9 内務省、美濃部の著書3冊を発禁処分
		12. 15 15新聞、言論圧迫に抗議の共同宣言			7. 16 真崎(勲監)更迭。後任に渡辺錠太郎
6	1931	9. 1 清水トンネル完成し上越線開通			8. 3 政府、「国体明徴」声明
		9. 18 柳条湖で満鉄爆破。満州事変始まる			8. 12 陸軍省軍務局長永田鉄山斬殺される
		9. 26 石橋湛山(東洋経済)が「満蒙放棄論」			9. 4 林陸相、引責辞任。後任は川島義之
		10. 14 河北新報に「軍部外交批判」の評論			9. 18 美濃部、貴族院議員の辞表提出◆司法省、不敬罪を不起訴処分に
		10. 16 朝日、「在満軍隊慰問金募集」の社告			10. 15 「国体明徴」再声明。機関説を禁止
7	1932	1. 28 上海事変始まる			11. 25 朝日、毎日、名古屋で印刷開始
		2. 22 廟行鎮の攻撃で「肉弾三勇士」	11	1936	1. 1 政府、同盟通信社設立◆内閣に情報委員会を設置、情報一元化を図る
		2. 29 リットン満州問題調査団来日			2. 26 二・二六事件。斎藤実内大臣ら射殺
		3. 1 満州国建国宣言			3. 11 平沼騏一郎、枢密院議長に
		3. 18 大阪で「国防婦人会」結成	12	1937	7. 7 支那事変始まる
		3. 28 捕虜になった空閑昇少佐自決			7. 13 軍機保護法改正
		5. 15 五・一五事件。犬養毅首相射殺◆政府、詳細な事件報道を一切禁止	14	1939	9. 1 第2次世界大戦始まる
		5. 16 菊竹淳(朝日)、夕刊に「首相兇手に斃る」◆「敢て国民の覚悟を促す」(17日)	15	1940	12. 6 内閣情報局設置。言論統制機関に
		5. 26 斎藤実内閣成立。政党内閣終わる	16	1941	1. 8 東条英機陸相、「戦陣訓」を示達
		6. 28 警視庁に特別高等警察部			12. 8 太平洋戦争始まる
		7. 27 読売に馬場恒吾「日本よ何処へ行く」	20	1945	8. 15 敗戦
		9. 15 日満議定書に調印。満州国承認	21	1946	1. 1 天皇、神格化否定の「人間宣言」
		10. 2 リットン調査団の報告書公表	31	1956	12. 23 石橋湛山内閣成立
			32	1957	2. 25 石橋首相病氣辞任。岸信介内閣成立